

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連				
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課		
施策名	計画 17	人権が尊重される社会づくり		所属係	啓発教育班	課長名	村上陽一		
基本事業名	体系 61	人権活動実践の推進		担当者名	浅井 田原	電話番号 (内線)	096-242-1190(直通) (242-1111)2427		
予算科目	会計 01	款 03	項 01	目 08	事業 49	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 人権フェスティバル実行委員会設置要綱に基づく実行委員会の運営を行う事業。 (業務の内容) 人権フェスティバル実行委員会会議の開催、運営、人権フェスティバルの開催(会場設営、職員の業務要員としての配置事務、プログラム作成、講演者依頼、報償費の支払い事務、必要消耗品の購入、支払い、) (予算の内訳) (人権フェスティバル実行委員会補助金) 監査委員報酬、報償費(講演謝礼、手話通訳者謝礼、開催案内チラシのポスター・ステージ垂れ幕等の標語に採用した子どもたちへの記念品)、消耗品(啓発グッズ、紙風船・ヘリウムガス、メッセージ袋他)、印刷製本費(チラシ印刷)、使用料及び賃借料(児童・生徒送迎用バス借り上げ代)						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							人件費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費	人件費計 (B)	0
							人件費	トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

市民を対象に人権フェスティバルを開催した。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市民

小・中学校児童・生徒、PTA、教職員

幼稚園・保育園園児、保護者、職員

事業所社員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりをめざす。

市民と一緒に人権について考える機会にする。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

人権を尊重する活動に取り組むようになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 人権フェスティバル参加者数 人

イ 開催チラシ配布枚数 部

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 人口 人

イ 市内従業者数 人

ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 人権フェスティバルに参加して、アンケートに「大変よかった」または「よかった」と回答した人数 人

イ

ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称

単位

ア 過去1年間で人権活動に取り組んだ人の数 人

イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費							
	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0
	人件費							
	正規職員従事人数	人			3	3	3	3
活動指標	延べ業務時間	時間			640	640	640	640
	人件費計 (B)	千円	0	0	2,541	2,541	2,541	2,541
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	2,541	2,541	2,541	2,541
	活動指標	人			1452	1500	1600	1700
	イ	部			17100	20000	20000	20000
	ウ							
	対象指標	人			52676	54000	55000	56000
	イ	人			5000	5000	5000	5000
	ウ							
	成果指標	人			302	1500	1600	1700
上位成果指標	イ							
	ウ							
	上位成果指標	人			未把握	1500	1600	1700
	イ							
	ウ							

合志市

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------------	-----	----------	-----	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	一般市民へ広く人権啓発をしていくことが重要であるということで、平成14年度より旧合志町において、実行委員会を組織して人権フェスティバルを開催していた。旧西合志町では平成9年度より町と町教育委員会、町人権教育推進協議会主催で権フェスティバルを開催していた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昨年度の合併により、人権フェスティバルの参加対象者が増えた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	フェスティバルの参加者からは、講演会については内容が大変よかったという意見が多かったようだが、人権劇については、音が聞こえづらいという意見が多かったようである。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市民の人権意識の更なる向上を図ることが、政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 人権啓発の取り組みは市が主体的に行うものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 今後、更に多くの市民にフェスティバルに参加し差別をなくす活動につなげてもらい、差別の完全解消を目指していかなければならない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 毎年、多くの市民、小中学生、各種団体より参加してもらっており、アンケートを見ても大変よかったとの意見が多く見られることから、廃止した場合は、市民に広く人権啓発をする機会が失われ、影響は大きいと思われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 実行委員会を組織してやっている事業であり、統廃合はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 支出項目をすべてチェックしており、削減できるところは極力削減するよう努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 多くの参加者が集う一大イベントであり、事務量も多いため、今よりも人員削減をすることは難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民を対象としており、公平・公正である。

合志市

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------------	-----	----------	-----	---------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

未だ差別が完全解消に至っていない状況である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

今後も多くの人にフェスティバルに参加していただき、一人ひとりが人権意識の更なるを図るべく取り組んでいかなければならない。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

アンケート等での意見を参考にしながら、よりよい啓発が出来るよう取り組んでいかなければならない。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項